

山形美術進学塾



2017年 受講生募集概要

山形美術進学塾とは？

山形美術進学塾は、やまがた芸術倶楽部から美術系大学進学部門として独立した進学塾です。
山形市内・県内からの、美大進学、クリエイターとしての就職を目指す受験生を引き続きサポート
していきたいと思っております。

美大での研究には、必要な能力があります！
とりあえず、
見たものを描けるようになってから大学に入学しましょう！

入試に実技試験がない大学が増えつつあります。

しかしそれは大学に入学するまでの問題であって、クリエイターになるための研究としてはデッサン力がない事は致命的であるといえます。デッサン力とは観る力、それを伝える力であり、あらゆる制作活動の基礎になる力です。基礎力がないのでは、その後の研究を円滑に行う事が非常に困難です。

反対に、もつべき力をもって入学すれば、大学生活をより有意義に過ごす事が出来るでしょう。基礎力の有無で、その後の研究のやりやすさは格段に違うし、基礎力を鍛え直す時間は、忙しい大学生活の中ではほぼないでしょう。

入学後、自分のやりたい事を全力で行うためにも、しっかりしたデッサン力を身につけてから美大に入学しましょう。

大 谷 勤

Ohtani

Tsutomu

東北芸術工科大学大学院修士課程

ビジュアルコミュニケーション学系修了。視覚伝達のシステムと、その誤作動“錯視”について研究。

三国町トリックアートコンペ優秀賞受賞。

東京のデザイン事務所勤務後、退社し福島学院短期大学部非常勤講師を経て山形県立高島高等学校で情報の非常勤講師としてDTPを指導中。

大学院入学時からやまがた芸術倶楽部で講師を務める。

やまがた芸術倶楽部の予備校部門終了に伴い、山形美術進学塾を開始。

■入学前の見学・保護者面談 入学後の保護者面談のお願い

主要5教科の学科入試とは違い、美術の勉強は、それを行った経験がないと解りづらいものです。センスや才能の問題と捉えられ、誤解されているのもこの分野の勉強を困難にしている原因とも言えます。その不理解が不安を産みます。

合格ラインはどのくらいか…

自分には何がどのくらい足りていないのか…

受験までどこをどうしたら良いのか…

様々な不安があると思います。

山形美大進学塾の入学についても同様です。

勉強についていけるだろうか…

講師は怖くないだろうか…

授業料に見合った指導だろうか…

不安を取り除くために、是非入学する前に一度見学にいらして、1週間の無料講習を受講してください。

その間に保護者の方は、講師との面談を行っていただきたいと思います。その上で、受験勉強に対しての理解をしていただくからの受講をお願いしたいと思います。講師としても、受験生としても、自分の勉強、将来の希望等に理解のある味方がいるという事は、非常に心強い事です。

入学後、本校では、課題ごとに受講生の作品とファイリングし、その作品を見ながら現在の課題の進捗状況や今後の課題方針等を、保護者面談で説明させていただきたいと思います。保護者の皆様にはご多忙とは存じますが、是非足を運んでいただき、お話をさせていただきたいと思っております。

ものをみる力も、それを表現する力も、トレーニングによって理解し、習得する事が可能です。オカルティックな力でも、遺伝形質でもありません。それを理解する事がまずは重要で、それらを習得する事は、技術的に可能である事を実感する必要があります。

受験勉強には周りの協力が不可欠です。受講生の目標達成のために、なにとぞ協力をお願いいたします。

※8月末に説明会を予定しています。

■入学までの準備

まずはデッサン道具を準備してください。

課題進行状況、志望大学に応じて、それぞれの専門画材(透明水彩・アクリル絵の具等)も必要になりますが、まずは観る力、それを表現する力を鍛えるためにデッサンのトレーニングを行います。デッサンが出来ていない場合、他の専門課題は非常に難しくなります。デッサンの重要性を理解するために早めに開始する事もありますが、開始前に連絡をするので、まずはデッサンの道具を揃えてください。

購入した道具は必ず確認し、講習が始まる前に使って試してみましよう。鉛筆の削り方は一般的な削り方とはだいぶ違います。入学前の面談の時に説明するので、しっかり確認して、講習開始までに削ってきてください。

また、山形美術進学塾では道具の貸し借りは基本的に禁止です。他者の道具で作品を駄目にしたり、自分の道具を駄目にされたりしたら取り返しがつかないからです。これは山形美術進学塾と受講生の間でも同様です。道具はメンテナンスが肝心です。作画の道具は受験の道具というより、クリエイターを目指すならそのまま将来まで使う事になる道具です。絶えず最高のパフォーマンスを発揮するために、しっかり自己管理する必要があります。必ず持ち帰り、次の日の課題に備えて準備しましょう。パネルはさすがに持ち帰りが厳しいので、置いていく事が出来ますが、家での課題をするために持ち帰る事ももちろん出来ますが、課題の時にパネルがないという事にならないように気をつけましょう。

最初に必要な道具一覧

鉛筆デッサンをするための道具です。

入学前にそろえて、触っておきましょう。

4B～Fまでの鉛筆 2本ずつ以上
H～3Hまでの鉛筆 2本ずつ以上
4H～10Hまでの鉛筆 1本ずつ以上
フェキサチーフ 1管
練りゴム(デッサン用) 1つ以上
羽筆 1本
切出し小刀(又はそれに相当する刃の厚い鉛筆削り用ナイフ) 1本
カッターナイフ(紙切断用) 1本
水張りテープ 一巻
水張り用刷毛 一本
木製パネル B3・木炭紙版 各一枚

※上記は必要最適の内容です。これ以外にも擦筆、ティッシュ、ディスクル、測り棒等、有用な道具はあります。必要だと思った場合は随時買い足しましょう。また、それらを収納する道具箱も必要です。道具の他にスリッパも必要です。

■コース案内

通学コース 講習日 火～金18:00～21:00
講評会 土18:00～21:00

受験対策用のコースです。週5回の通学で絶えず進捗状況を確認しつつ課題を進めていきます。基本的にデッサン・構成共にスポーツのトレーニングと変わりません。一番難しいのは、“続ける事”です。そしてあらゆるトレーニングは続ける事で効果を発揮します。自然に続けることができるようになるまでは、そのリズムを自然な事にする事が重要です。通学コースは、描く事を日常の行動にするためのコースです。同時に、制作活動に必要な客観的な視点を鍛えるためのコースでもあります。一緒に通うライバルからの刺激や講師のアドバイスを活かして、自分のものにする事で、客観的な視点の持ち方を身につけることができます。

日・月・休日は基本的にアトリエは休みですが、その間に制作した課題等も、持参すれば講評します。

※アトリエの事情により、油彩はアトリエで行えません。油彩志望の場合は日・月曜日に作成し、土曜日の講評会で持参すれば、講評を行います。

通信コース 通信による課題
講評会 土18:00～21:00

山形美大進学塾の通常コース講習時間中に通学する事が困難な受講生のためのコースです。

E-mailで課題を配信し、自宅で課題に取り組み、土曜日の講評会に持参し、アドバイスを受けます。対応したハードウェアを所持している、希望があれば、Skype・FaceTime等で進捗状況を確認する事も出来ます。(時間によって対応出来ない場合もあります。)

ただし、送受信のハードウェアの有無、性能の影響や、集中光・モチーフ等設備の関係もあり、通学している状況ほどの確にアドバイス出来るとは限りません。

自分1人で勉強している時に、モチベーションを保つのは容易な事ではありません。あくまで通えない場合の救済策であり、リアルタイムでのアドバイスにはかなわない事を考慮し、どうしても通学が困難な場合以外は通学コースをお勧めします。

土曜日は通学コースと合同で講評会を行います。

	日	月	火	水	木	金	土
通学コース			通学日	通学日	通学日	通学日	アトリエ開放 10:00～17:00 2コース合同 講評会 18:00～21:00
通信コース	自宅学習課題			Skype FaceTime等 通信による 途中講評 (希望者のみ)	自宅学習課題		

※ (土) 10:00～16:00 昼アトリエ開放日

当週木曜日までの申し込みで、受講コースに関わらず予約制で先着6人自由にアトリエを使用することができます。

石膏像・静物・卓上等のモチーフも貸し出します。

課題は出ませんが、要望があればアドバイスをを行います。

作品はそのまま講評会で講評します。

■授業料・入学金

入学金 全コース共通

10,000円 (税込)

※やまがた芸術倶楽部入学者は入学金無料

通常コース

月額

40,000円 (税込)

通信コース

月額

30,000円 (税込)

※受講は月ごとの申し込みです。

毎月15日までに講座振込にて納入をお願いします。

■お問い合わせ

山形美術進学塾 

☎ 080-5732-2886

E-mail : info@yamabijyuku.jp

http://www.yamabijyuku.jp

〒990-2447

山形市元木3丁目1-23



Google Map

※グーグルマップのQRコードです。

リーダーで読み取るとURLが表示されます。

ブラウザがGoogle Mapでごらんください。